

令和 8 年 2 月 16 日

各位

一般財団法人医療情報システム開発センター
理事長 山本 隆一

システム障害発生に関するお詫びとご報告

平素より当財団の各種サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

このたび、2025年12月30日より発生いたしましたシステム障害により、皆さまに多大なご不便とご心配をおかけいたしました。深くお詫びいたします。。

一時は当財団が提供するインターネット関連サービスのほぼ全部がご利用いただけない状況となりましたが、年明けの1月5日より順次復旧し、現時点において全ての主要サービスが正常に稼働しております。

今回のシステム障害の概要は下記の通りです。

記

1. 障害の概要と復旧について

2025年12月30日15時頃より、ネットワーク機器およびサーバー基盤の複合的な不具合により、外部・内部からのアクセスが不安定となり、電子メール、ホームページ全般、ホームページ内で稼働するCGIプログラム等の動作が停止または不安定となった。

復旧のためにDNSおよびWebサーバーを同時に再構築することが必要と判明したが、年末年始と重なったこともあり、この作業に時間を要したこと、ご利用の皆さまへお知らせすべき手段（メール・ホームページ）が一時的に完全に失われた結果、速やかなご案内ができなかったこと、等で多くの皆さまに多大なご不便とご心配をお掛けすることとなった。

2. 障害の影響範囲

電子メール、ホームページ全般、医療機器・医薬品関連サイト、ホームページ内で稼働するCGIプログラム等、影響範囲がインターネット関連のほぼ全てのサービスに及んだ。

電子メールやホームページの大半は年明け後の1月9日までに復旧したものの、CGI等のプログラムが埋め込まれた一部サイトにおいては部分的不具合により完全復旧まで時間を要することとなった。

3. 再発防止に向けた取組み

今回の障害を大変重く受け止め、以下の再発防止策を進める。（一部は実施済）

- ・現状のサーバー基盤老朽化のため、構成機器を全面刷新する。
- ・現状のネットワーク構成が過去の実験的事業等を引継いだ結果として複雑化および一部不透明化のため、再構築による簡素化と安定性強化をはかる。
- ・同上の理由で複雑化しているDNS設定および同管理体制を全面的に見直す。
- ・旧プログラム資産（CGI等）の刷新と保守性向上をはかる。
- ・障害時の代替連絡手段（非常用告知ページ・外部メール等）を確保する。

以上